

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (43) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 10 月 25 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 37 金曜癒やしの始まり(使 1:8)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 37 サミット運動の始まり(使 19:8)	△核心/RTday 11 月学院福音化
家系、教会に行ってみれば、死んでもうまいかないことがある。それを握って祈りを続ければ答えは続けて来る。 「金曜癒やしの始まり」(使 1:8) 未信者は食べること、着ること、寝ることしか分からない。なぜ苦しみが来るのか分からない。隠れた問題を話す時まで祈って良くしてあげなければならない。それを知っていてこそ、伝道が分かるのだ。金曜日徹夜祈りに集まるときも、証拠があるべきで、それを握って祈りに行く。新しい家族は必ず五つの流れをチェックしなければならず、またしてあげるべきだ。すると働きが起こる。それゆえ、重職者は必ず癒やしメッセージがなければならない。 □序論_絶対やぐら(?) 小さい事件一つでも証拠を握れば 1. 聖書全体で証拠 2. 答え、 3. 未来が見える。 証拠 なぜ伝道ができないのか、祈りとは、貧しさ、病気、無能なのか、最後まで入って行ったが、聖書全体で答えが出てきた。 □本論_根源癒やし 人間は霊的存在なので、霊的な力を受けて、霊的癒やしから受けなければならない。(ヨハ4:24) 1. 使 1:3 御座 に関することを 40 日説明。この部分でなければ、空中の権威を持つ支配者に勝つことができず、237-5 千種族の答えはない。神の国のことが成り立つことが答えだ。 2. 使 1:14(心をつにして)祈りに専念した。本当にこの答えを受けなさいということだ。 3. 使 2:1-4(三つの祭り) 最高の答え「五旬節の日になって」過越祭の契約を持って出た人々が五旬節に出会った。この人々の背景が仮庵祭、御座。 2:9-11 この人々が産業人だった。 2:43-45 この人々が答えを受けたので、献金もいっぱいになってあふれた。 4. 使 13:1-12 パウロとそのチーム、重職者がその答えを引き継いだ。 5. 使 16:16-18 だれも癒やせないことを癒やした。御座の力とキリストの御名を度々強調する理由だ。 6. 使 19:8-20 完全に暗闇に捕えられたところで 2 年間みことば運動をしたが働き。そこでの証人。 7. 使 19:21、23:11、27:24 霊的な問題の根源地であるローマに行って証し。死んでいく者を生かさなければならない。暴風、事件に見えるがそれが大きい証拠に。 □結論 証拠 すべての問題を証拠に変えなさい。証拠を見つけ出す時までするのが祈りだ。神様の働きはそのときから始まる。 みことば 本を読んで編集、設計、デザインしていたら、ある日生きている神様のみことばと結論が出てきた。	□序論_会堂 1. 味わう、待つ、挑戦 1) 三回の安息日にパウロが会堂に入れる状況。これを持って答えを見つけ出す 24 2) プリスカ夫婦もいて、長期的に入り込む可能性がある時は、安息日ごとに。25 を待つ。 3) ティラノで弟子だけ選び出すのに3か月、そしてみことば運動を 2 年展開して永遠に挑戦 2. 内容 1) キリストの完全性 2) 礼拝と祈りの完全性 3) 答えの完全性を見つけ出すこと。 3. 神様の時刻表は個人で違って、時代ごとに違う。300%が完成された日、神様の時刻表が働く □本論_流れ 1. 申 6:4-9 申命記は刻印させて、根を下ろしなさいということだ。それゆえ、その難しいカナン征服が簡単に起きてしまう。 2. I サム 1:9-11 ハンナがこの祈りをしてこの祝福を受けたが、ミツパ運動が起きた。 3. I サム 16:1-13 ダビデが契約を握ったが、1 千のやぐらを建てて、神殿準備をしたのだ。 4. イザ 6:1-13 イザヤにレムナントが起きて、切り株はなくなると言われた。完全に世界を見通す大路において見張り人として立ててしまった。 5. 会堂で学んだことをローマ福音化に変えられた。 □結論_実践 1. サミットタイム(祈り) -朝の時間を作って7・7・7 祈り 2. サミット姿勢(深く)から備えてこそ答えが与えられる。 3. サミット器(大きさ)大きくたくさん入れようとするなら器を準備。レムナントは 237-5 千種族生かすほどの器準備 △散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 37 絶対やぐら、旅程、道しるべ カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の部屋は始まり。アンティオキアに動くことは旅程。マケドニアに動くことは旅程だった。ローマを見たのが目標。ここに絶対やぐら、絶対旅程、絶対道しるべがみな出てきた。 この(レムナントデイメッセージ)祈りを味わって勉強すれば、ものすごいことが起こる。奥義であるために、私が息をどのように吸って、何の祈りをするのかは、ほかの人が分からない。動きながらすべてするので。それゆえ、24 を知らない祈りは祈りではない。	1 祈り -必ず学ぶこと 7・7・7 3 集中 (朝に脳とからだを生かす 7・7・7 呼吸祈り、昼に祝福と答え確認、夜に課題と問題の中に答えが出てくる時まで祈り)→ 3 セッティング → 3 答え -毎日すべきこと 祈るときに臨む神の国 1. マタ 6:10 2. マタ 6:33 3. マタ 12:26-30 4. 使 1:3 5. 使 1:14、2:1、2:42 契約を握って心をつにして祈り(ほかのこと必要 x) →五旬節→生き返った礼拝 △毎日力を受けなさい。主日には病気がみな離れるほど、みことばが刻印されるように祈りなさい。六日間に答えが見えるほど恵みを受けなさい。 2 毎時間 祈りのやぐらを建てなさい。 確認、確定、運動 今日ここに座っている理由、今日のみことば確認、毎時間運動 7 やぐら、旅程、道しるべを毎日、毎時間、毎事件で味わえば良い。私がちょっと難しいならば、根本(状態)、基本(姿勢)、基礎(実力)に降りて行かなければならない。三位一体の神様の働き、御座のやぐら、過去・現在・未来を解決する力のやぐら、5 つの力のやぐら、空中の権威を持つ支配者に勝つ力が私に臨むように。すると未来(CVDIP)が見えて 3 時代が開かれる。→時空超越の祝福 3 毎日、毎時間味わえば歩むように祈りの旅程- 受容、超越、答え を毎時間味わいなさい。 三位一体の神様の働き、10 の土台、奥義、5 確信、9 流れが私の旅程となり、一生の答えをもって与えて、今日がキャンプになることが私の旅程だ。このときから、237-5000 が見える。 吸う息:この一つが私に臨むように 止める:適用 吐く息:伝達 4 祈りの道しるべができる。残っている 空前絶後 の神様の恵みを見つける時まで祈りなさい。 過去・現在・未来をキリストの血で解決したカルバリの丘、ミッションが与えられたオリブ山、体験が起こったマルコの屋上の部屋、時代を変化させたアンティオキア、完全に聖霊に導かれたアジア、ターニングポイントを成し遂げたマケドニア、世界征服したローマ→裏面契約(各人に違うように臨む空前絶後の祝福) 5 祈りの道しるべ 毎事件 300% 300%を作る習慣-みことばが生きて働く時まで編集、祈りが生きて働く時まで設計、未来と現場が見える時までデザイン △全体を合わせて福音と言う。福音は生かすことだ。 1. 7 やぐらで絶対やぐらを建てなさい。 2. 7 旅程で絶対旅程を進みなさい。 3. 絶対道しるべを建てなさい。

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (43) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 10 月 26 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 43 週 答えの再生産-祈り(御座、神の国、神の国のこと)(使 2:10)	△聖日 1 部 第 1 人生キャンプ(使 13:1-4)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 癒やす神殿(使 13:5-12)
△私たちが祈るとき、三位一体の神様が働かれているが、御座の力が現れる。また、神の国と神の国のことが成り立つ。マタ 1:10 に神の国が臨むように祈りなさい。いちばん最後にも神の国について 40 日説明された。それゆえ、私たちは毎日、3 集中で朝に脳を生かして、昼には答え、祝福を確認して、夜には成就した答えを見る。すると、プラットフォームが作られて、人を生かす見張り台、答えを受けようにさせてあげるアンテナが立てられて、3 セッティングが作られる。問題は答え、葛藤と困難は祝福に変える更新、病氣と困難は神様の力を体験する機会だ。この 3 答えを味わえば良い。毎時間は、神様の答えがどのように来るのか流れを確認して運動するのだ。すると毎事件 300%が作られる。そして、主日には癒やされてサミットになる日だ。 □序論_祈り 300% 1. 御座のやぐら-神様が私たちに与えられた御座の背景をやぐらとして建てなさい。 2. 御座の旅程-御座の力で旅程を進みなさい。 3. 御座の道しるべ-私たちの職業、産業に御座の道しるべを建てなさい。 □本論_プリスカ夫婦 1. 使 2:10 最高の答えの現場であるマルコの屋上の部屋の現場にいた。オリブ山で確実なミッションをもって降りてきて、心をつつにして祈っていた。いちばん大きな働きが三つの祭りだ。「五旬節の日になって」このことばは、逾越祭の祝福を受けた人が祈って五旬節に会うようになったのだ。その背景は仮庵祭、御座だ。これを私たちは常に味わわなければならない。 2. 使 18:1-4 出会い ローマから追放されたプリスカ夫婦がパウロに会った。ここで重要な事件、職業、ミッションがみな出てきた。最高の祝福である出会いの祝福が起こった。 3. 使 18:24-28 アポロに会ってマルコの屋上の部屋の働きを説明した。働きが起こり始めた。 4. I コリ 16:19 地域を生かす絶対やぐらを建てれば、生かされるようになっている。産業、学業にも絶対やぐらを建てて、祈って待つて味わえば良い。 5. ロマ 16:3-4 ローマ福音化に参加したのだ。完ぺきな人生だ。 □結論 1. 隠されたこと-神様が隠されたことがある。私の絶対旅程を歩みなさい。 2. 3 時代-多くの旅程に行く中で教会の絶対やぐらを建てなさい。三つの庭、金土日時代、黙想時代だ。 3. 再生産-現場に絶対やぐらを建てなさい。すると、再生産が続いて起こる。	神様がくださった人生第 1 キャンプがうまくできなければ、自分の考えに固定されていて、神様のみことば全体が整理できなくなる。みことば、祈り、伝道が私には遠くて、生きるのが難しい。神様が私たちに光をくださったので、それ自体がキャンプだ。 □序論_神様がくださった人生第 1 キャンプができれば 1. みことば全体が見える。 1) 創世記-人間の本当の問題と答え 2) 出エジプト記-暗闇から出るべき 3) レビ記-祈り 4) 民数記-救われた者の使命 5) 申命記-今まであったみことば刻印 6) これがうまくできなければ、士師、王、預言者、祭司が現れてもだめで奴隷、捕虜として行く。 7) 福音書-それゆえ、答えはキリストだ。 8) 使徒の働き-道 9) 残り-証拠 10) ヨハネ黙示録-終末のときに大きな混乱も心配してはならない 2. 祈りが幸せて力になる。 3. 300%という絶対やぐらが見える。 □本論_人生第 1 キャンプの内容 1. 助け主聖霊が永遠にともにおられることを刻印させなさい。 1) ヨハ 14:16 助け主聖霊-永遠にともに 2) ヨハ 14:26 助け主聖霊-すべてのことを教えて思い起こさせてくださる。 3) ヨハ 16:13 聖霊が真理の中に導き、これから起こることを分からせてくださる 4) 刻印させる 24 祈り(エペ 6:18、見張り人)-24 味わう、ついてくる 25、作られる永遠の作品 2. キリスト、神の国、ただ聖霊というミッションで根をおろしなさい。 1) 御座のやぐら 2) 御座の旅程 3) 御座の道しるべが見える。 3. 聖霊内住、聖霊導き、聖霊の働きで体質になる。 1) 聖霊内住(使 13:1) -I コリ 3:16、エペ 4:30、ピリ 2:13 だまされてはならない。 2) 聖霊の導き(使 13:2) -基準。聖霊が内住する人が受けること 3) 聖霊の働き(使 13:4) □結論 1. 第 1 人生キャンプ味わう祈り 1) ヨハ 20:22 神様がくださった呼吸で祈り 2) エゼ 37:9-10 この契約を味わう時間は神様のいのちの息を受ける時間 3) 創 1:3 創造の光 2. ただ 1) 私の生活の中に毎日祈りで集中 2) 三位一体の神様と御座の力でやぐら、旅程、道しるべを建てること 3) 毎日、毎時間、毎事件 3. 第 1 人生キャンプを始めなさい。 1) 迫害は新しい挑戦、死は新しい始まり、散らされた者が世界福音化 2) 神様の聖霊があなたがたの中に 3) 300%作りなさい。 4) 237 と 5 千種族を生かして暗闇の伝染病を止めなければならない。	特別なことをしなかったが、永遠の答えを受ける教会がある。 迫害-一件に 100 年答え 散らされた者、残りの者-1000 年の答え 今も働いている-永遠の答え 一つの教会が悟ったのだ。初めて宣教師が派遣された現場だ。一つの十字架があれば良い。皆さん一人が良い。 □序論_暗闇 x 一暗闇を打ち砕くこの働きに神様は永遠の答えを与えられた 1. 偽り預言者(6 節) -ともに、伝道、悪霊を追い出す権威も与えるために呼んだ。全部、暗闇文化に陥っている。 2. 福音を妨げる者 3. 聖霊に満たされて権威を使ったパウロ(10-11 節) △先に目を開かなければならない。病んでいる者が急増している。これができる教会、神殿がない。この隙を利用して 3 団体が完全に掌握した。神様が切なく、重要にご覧になることを見なければならない。そうでなければ、暗闇は次世代を掌握する。皆さんが行く所に最も先に起こらなければならないことが暗闇を打ち砕くことだ。悪魔のわざを打ち破るために、神の御子が現れた。パウロが宣教地域に出て行って三か所で暗闇を打ち砕いた。 □本論_神様がパウロチームを用いられた理由 1. 暗闇の病を癒やす神殿-暗闇から打ち砕きなさい。それでこそ、暗闇の病になった地域を癒やす。 1) 根源癒やし-聖霊に満たされて権威を用いる。根源癒やしは、ただ聖霊の満たし。 2) 生活癒やし 3) 肉体癒やし 2. 持続 癒やす神殿-根源的な力を受けなければならない 1) 幕屋中心にすべての答えをみな受けた。 2) 神殿中心にすべてのメッセージをすべて与えられた。もっと大きな世界福音化しなければならないので。 3) 教会-世界化させられた。教会中心にすべての力を回復しなさい。 △教会ではほかのことは言わず、主日には完全にみことばと祈りにだけ専念しなさい。 3. 世界を癒やす神殿-根源的使命を持って世界を癒やすようにさせなさい 1) 3 庭時代を開く神殿を作りなさい。 2) 金土日時代を開く神殿を作りなさい。集中して治さなければならない。 3) 黙想時代を開く世界神殿を作りなさい。精神病時代を治さなければならない。 □結論_レムナント-どんな人が集まる教会が作られなければならないのか。どんな人を用いられたのか。 1. 残りの者(どこでも生かす福音を持っている残りの者) 2. 巡礼者(旅人) 3. 征服者 4. 散らされた者(捨てられた者ではない) 5. 見張り人 6. 偵察人 7. 旗を揚げた者 △このような者が集まる神殿、このような者が派遣される神殿は、永遠の答えを受ける。心の中に込めなさい。私の人生に聖書にある答えを本当に受けると決断しなさい。